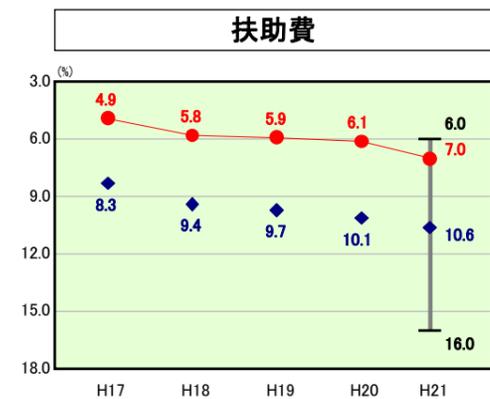
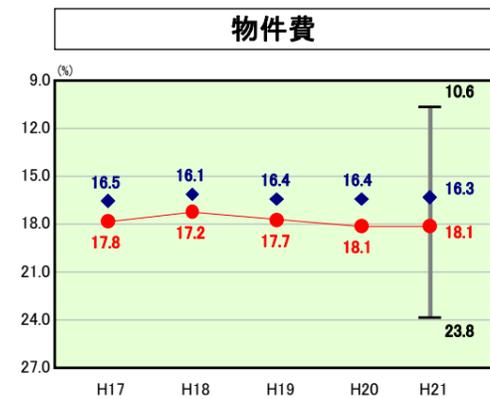
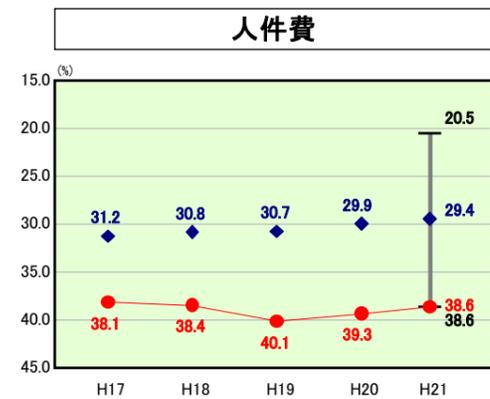
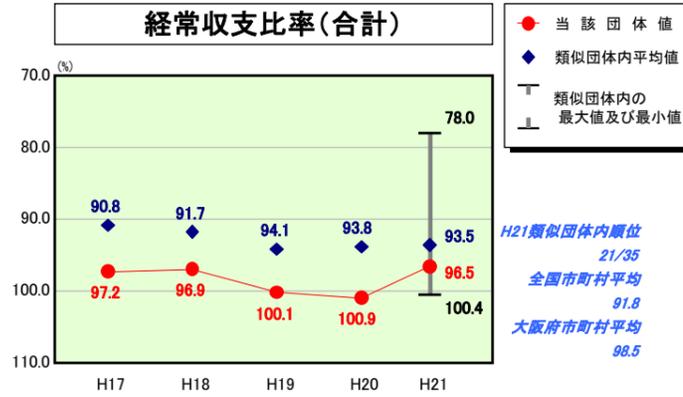
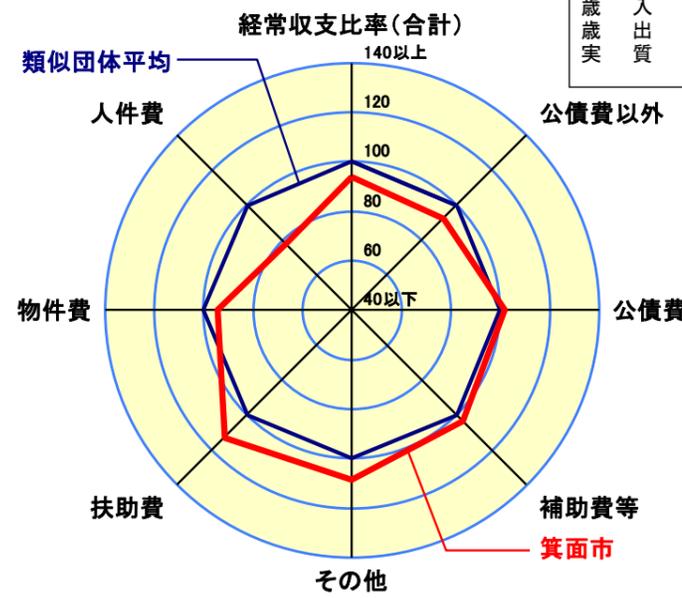


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

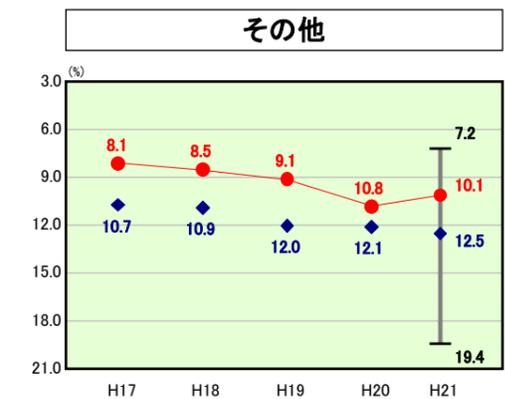
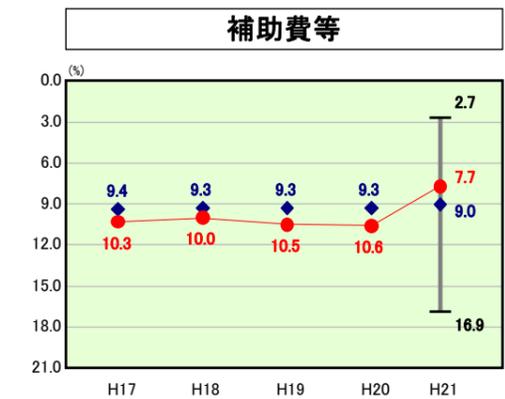
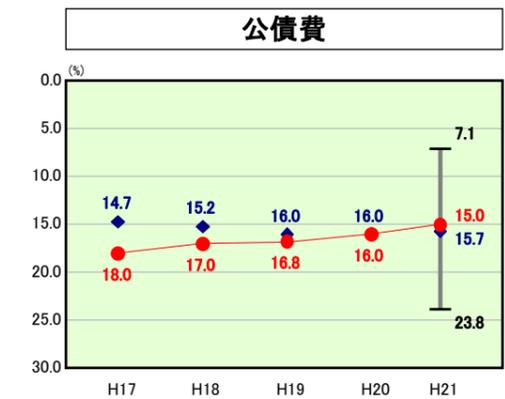
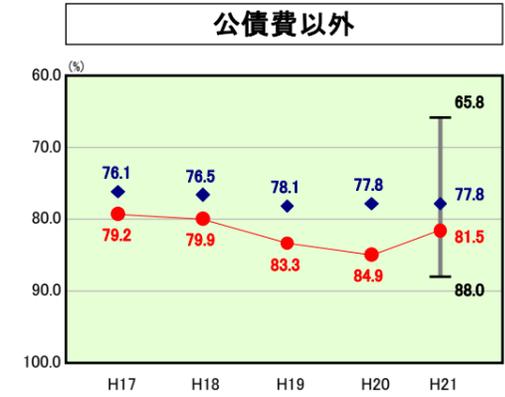
経常収支比率の分析



人口	126,886人(H22.3.31現在)
面積	47.84 km ²
標準財政規模	24,122,289千円
歳入総額	39,770,678千円
歳出総額	38,419,243千円
実質収支	652,142千円



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

1. 人件費(別掲「人件費及び人件費に準ずる費用の分析」参照)
 給料月額3%カット(平成18年度～平成20年12月)、給料月額の参事級以上3.5%、主幹級以下3%カット(平成21年1月～)、期末勤勉手当削減(平成14～18年度)、特殊勤務手当の見直し(平成16年度)等の給与適正策を実施するなど、総人件費の抑制に取り組んだ結果、人件費にかかる経常収支比率が平成20年度に比べ0.7ポイント改善した。しかしながら、類似団体に比べて組織の一部事務組合等が少なく、直営で事業を実施していることや、図書館等の公共施設を多く設置し、職員数が類似団体平均と比較して多いことが主な要因となり、定年退職者などの増加に伴う退職手当を含め人件費が類似団体平均と比べて依然高い水準にある。民間でも実施可能な部分については、民営化や指定管理者制度の導入など、委託化を進めることにより、職員数の適正化に努め、人件費の縮減を進めている。

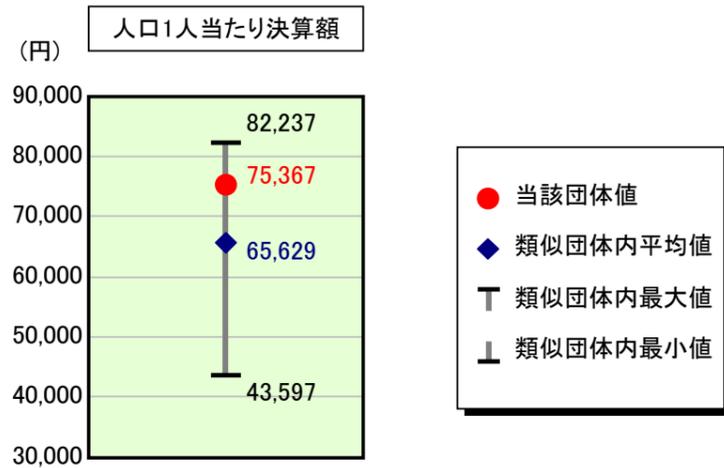
2. 公債費(別掲「公債費及び公債費に準ずる費用の分析」参照)
 人口1人当たりの公債費決算額は、インフラ整備等の財源とした既発債の償還がピークを過ぎ減少傾向にあること、市債の発行を極力抑制してきたことにより、類似団体平均を下回っている。また、公営企業債の元利償還に係る繰出金などの公債費に準ずる経費も、類似団体平均を下回っている。今後も赤字地方債である臨時財政対策債の発行を極力抑制するとともに、投資的事業の適切な取捨選択により施設整備事業債についても新規発行を抑制する必要がある。

3. 普通建設事業費(別掲「普通建設事業費の分析」参照)
 人口1人当たりの決算額は、平成15年度以降減少傾向にあり、昨年度は箕面森町の学校施設整備により一時的に増加したものの平成21年度は再び減少し、類似団体平均の約7割程度の水準となっている。しかしながら、彩都地区の都市基盤整備や公共施設等の老朽化対策などへの投資が今後見込まれており、事業の必要性、緊急性の検討はもとより、選択された事業においても徹底的な経費の精査を行い、限られた財源の最大限の有効活用を図っていく必要がある。

歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

大阪府 箕面市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



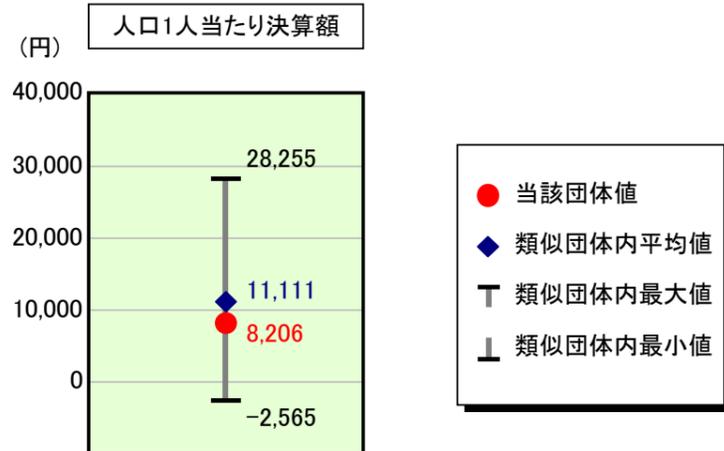
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	10,041,929	79,141	63,476	24.7
賃金(物件費)	328,070	2,586	3,827	▲ 32.4
一部事務組合負担金(補助費等)	23,664	186	2,395	▲ 92.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	535	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	336,827	2,655	2,661	▲ 0.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	36,213	285	888	▲ 67.9
▲退職金	▲ 1,203,635	▲ 9,486	▲ 8,154	16.3
合計	9,563,068	75,367	65,629	14.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.20	6.23	0.97
ラスパイレス指数	98.7	100.2	▲ 1.5

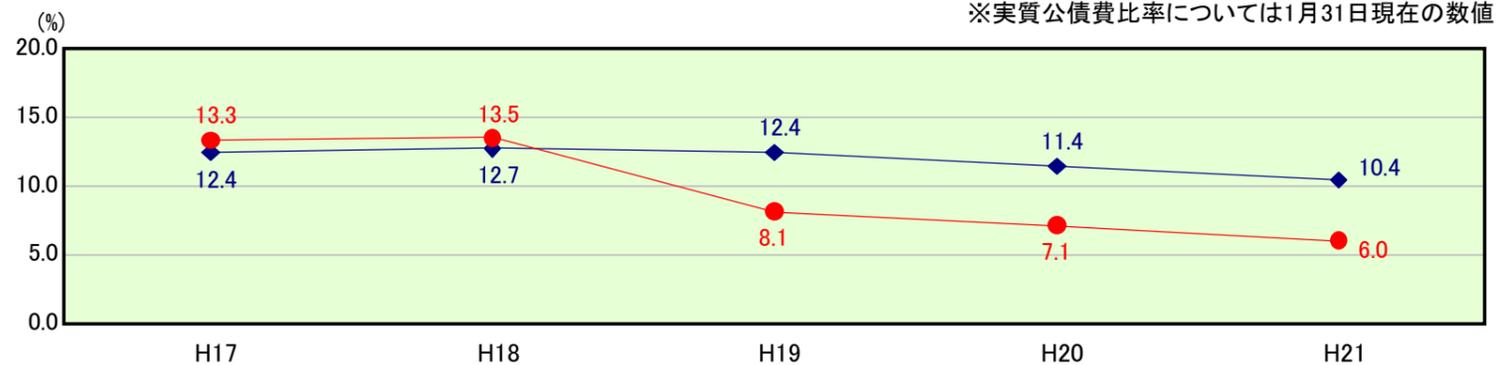
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素) ※1月31日現在の数値

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,698,916	29,151	30,792	▲ 5.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	18	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	29	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	611,833	4,822	6,817	▲ 29.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	-	-	1,724	-
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	16,148	127	1,005	▲ 87.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 1,346,946	▲ 10,615	▲ 7,508	41.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,938,674	▲ 15,279	▲ 21,772	▲ 29.8
合計	1,041,277	8,206	11,111	▲ 26.1

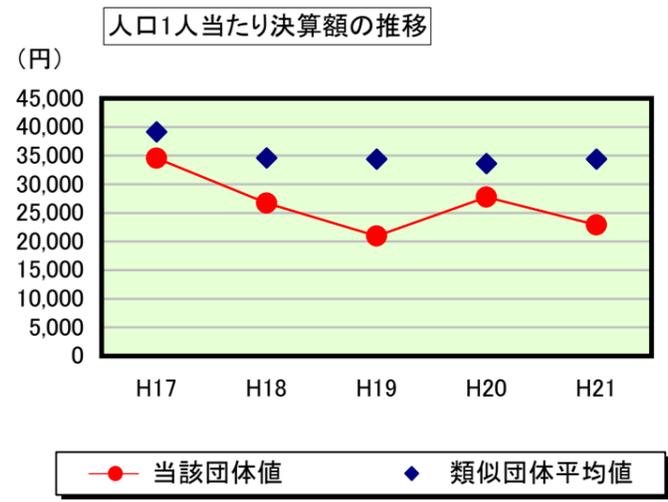
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

大阪府 箕面市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H17	4,325,821	34,562	3.6	39,137	0.2	3.4
うち単独分	2,877,196	22,988	▲ 1.5	25,572	15.7	▲ 17.2
H18	3,334,773	26,690	▲ 22.8	34,575	▲ 11.7	▲ 11.1
うち単独分	2,189,803	17,526	▲ 23.8	20,711	▲ 19.0	▲ 4.8
H19	2,617,559	20,935	▲ 21.6	34,382	▲ 0.6	▲ 21.0
うち単独分	1,658,404	13,264	▲ 24.3	19,677	▲ 5.0	▲ 19.3
H20	3,484,552	27,762	32.6	33,622	▲ 2.2	34.8
うち単独分	1,604,028	12,780	▲ 3.6	18,856	▲ 4.2	0.6
H21	2,902,852	22,878	▲ 17.6	34,366	2.2	▲ 19.8
うち単独分	1,431,291	11,280	▲ 11.7	19,822	5.1	▲ 16.8
過去5年間平均	3,333,111	26,565	▲ 5.2	35,216	▲ 2.4	▲ 2.8
うち単独分	1,952,144	15,568	▲ 13.0	20,928	▲ 1.5	▲ 11.5